

トンボ観察会 (9月21日・黒浜沼周辺)



### 秋の風物詩

日本に生息しているとされる203種のトンボのうち、33種が確認されている黒浜沼周辺。参加者はなじみのある赤トンボのアキアカネやマイコアカネをはじめ、珍しいトンボを捕まえて特徴などを観察していました。片山義一さん・紀子さんは、「自然が好きなので、黒浜沼の周りでさまざまな生き物を見ることができてとても楽しいです」と話してくれました。



「裁縫が好きなので参加しました。子どもを預けて安心して楽しめました」と話してくれた町田香奈さん・弥ちゃん。フェルトを使って猫の形のミニバッグを作る講座を開催しました。持ち手の色選びから始まり、フェルトを縫い合わせたり、カラフルなビーズで飾り付けたりと内容が盛りだくさん。参加者は会話を楽しみながら、オリジナルバッグ作りに夢中になっていました。

### オリジナルバッグ作りに挑戦!



みんなのひろば「さくらんぼ文庫と楽しいハンドメイド」(9月26日・関戸保育園子育て支援センター)



### 伝統芸能を体験

9/7  
ハストピア



室町時代より650年以上上演し受け継がれてきた、日本を代表する舞台芸術の能楽。夏休みから始める能楽親子体験教室の発表会が開催され、観世流能楽師の奥川恒治さんを講師に迎え、12人の参加者は全7回のけいこを経て「小袖曾我」を披露しました。踊り部分の仕舞では着物を着て扇を持って華麗に舞い、歌部分の謡ではホール中に声が響き渡っていました。

有森桃杏さん(写真右)、有森鈴華さん(写真中央)、大久保蓮さん(写真左)は、大きな舞台で緊張したけれど練習の成果を発揮できました。友達といっしょに楽しく演じられてよかったです」とほっとした様子で話してくれました。

## まちの風景

学校給食などの廃油を使用し、泥や汗染みの汚れ落ちもよい、リサイクルせっけんを作る体験教室が開催されました。バケツに水と苛性ソーダを入れ、廃油、塩、酢を順番に加えます。化学反応により液体が固まってくると、参加者たちは交代しながら混ぜていき、だんだんと変わる液体の様子を興味深そうに見つめています。最後は牛乳パックに入れ持ち帰り、4日ほど経ったら好きな大きさに切り、更に2週間乾燥させて完成です。

9/21  
エコプラザ  
(蓮田白陶環境センター内)

### リサイクルで廃油が大変身



### 映画の舞台を歩く

太平洋戦争末期、妙楽寺に疎開する園児たちが実際に歩いたとされる桶川駅から大字高虫の妙楽寺までの道のりを歩きました。参加者たちは、約7キロメートルの道のりで映画のシーンを思い起こしていました。岡本貴子さん・彩音さんは「映画を見て参加したいと思いました。天気もよく、楽しく歩きました」と話してくれました。



蓮田を舞台にした映画「あの日のオルガン」を歩く (9月15日)

### 蓮田の梨が県知事賞を受賞



8月に開催された彩玉なし共進会で、出品した梨が埼玉県知事賞を受賞した平野梨出荷組合の萩原和夫さんが、9月19日、山口京子県議会議員とともに大野元裕県知事を表敬訪問しました。萩原さんは「長年手がけてきた愛着のあるブランド梨彩玉で賞をいただけてうれしいです。これまで梨作りを指導してくれたかたや支えてくれた家族に感謝しています」と受賞の喜びを語りました。